

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 39 号

令和2年(2020年)
10月1日 発行



コロナの猛威 黄点灯へ（大阪市浪速区・通天閣）

昨年末の紅白歌合戦で美空ひばりさんがAIによつて新曲「あれから」で復活したことが話題になった。賛否の声があがる中、「これは故人への冒瀆である」という厳しい意見を耳にして、なるほどと思った。

AIによつて創造された舞台での立ち振る舞いは、亡くなった方の意思とは全く無関係である。これに対する法規制もまだない。

ひよつとしたら近い将来、亡くなった大切なペットが、まるでまだそこにいるかのように、日々新たな姿を見せてくれるというようなことが現実になるかもしれない。そうなれば、愛するものと死別する深い悲しみが少しは和らげられることだろう。

ちよつと待てよと思う。生まれてきたからには必ず死ぬ。このいのちの厳しくも、ありのままの姿に目を逸らさず、真正面から向き合われたのがお釈迦さまである。

AI時代を迎えた今、お仏事を通して、いのちと向き合う縁を大切にしたいと思う。

（門川崇志）

う び がん 到 彼 岸



ウサギとカメ

高照寺 すみや としき 隅谷俊紀

「放送席、放送席。本日の競走で見事勝利しましたカメさんのヒーローインタビューです。おめでとうございます」

「ありがとうございます」

「勝因はどこにありましたか」

「特に思い当たりませんが、自分の力を発揮できたからだと思います」

「世間では足の速いウサギさんの方が有利との評判でしたが」

「確かに不安がありました。でも、『足

の速い遅いは個々の特徴だ』という先輩の声に励まされました」

「途中でウサギさんが居眠りしましたが、どのように思いましたか」

「自分の競走だけを考えていたので、まったく気づきませんでした」

「後日、再戦が行われるようですが」

「不安もありますが、競走を尽くすのみです」

物語『ウサギとカメ』のレース後のヒーローインタビューを私なりに想像してみました……。

精一杯を尽くす

今から競走をしようとするカメにとって「足が遅い」というのは決定的な不安材料です。しかし、カメは不安を抱えながらも、それを拒絶するのではなく、受け入れてウサギとのレースに臨んだのでした。そして、相手のことを気にすることなく、自分の中の精一

杯を尽くしていったのです。

物語ではカメが勝ちましたが、たとえ負けていたとしても、カメにとっては充実したかけがえのないレースだったことでしょう。

不安と安心

私たちは皆、不安を抱えて生きています。そして不安があると、それをなくしてしまうことによって安心しようと考えます。しかし、たとえ一つの不安がなくなったとしても、さらなる不安を作り出してしまうのが私たち人間です。

不安を消し去るのではなく、不安とともに、安心して生きていける道があることをカメが教えてくれているのでしよう。

(令和2年10月)



如にょ是ぜ我が聞もん

地獄はつらいよ

熊本県 阿弥陀寺 大谷義文おおたに ぎぶん師



自ら地獄をつくる

コロナウイルスに翻弄されている今の時が、同じ状況ではないでしょうか。マスクや消毒液が品薄とみるや、ひと儲けしようとする。自粛要請が出ていても、自分勝手な都合で出かけていく。

悪い心に火がつき、大火炎となつて私に覆いかぶさり、光が見えない状況を自らが作りだしている。この度のコロナ禍、私たちは縁さえ整えば、自らいる場所を地獄にしてしまふ存在であることを知らされるいい機会ではないでしょうか。

今回のお話にふれ、地獄とは死んでからのことではなく、まさしくこの身の事実と味わわせていただきました。

(佐々木太一 記)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で聞法の会座も開催しにくい中、熊本県阿弥陀寺の大谷義文師のご法話を本山佛光寺のWEB配信で聴聞させていただきました。

源信僧都の地獄

コロナの地獄

「マスクも手に入らない、出かけることもできない、友だちにも会えない。これは地獄だ。何とかしてほしい」とご近所の男性から相談を受けられました。そこで親鸞聖人が尊敬された源信僧都げんしん そうずの『往生

要集』に示されている地獄の様相についてお話をされました。

源信僧都は、地獄とは「我、今、帰する所なく 孤独にして同伴なし 闇の中にあつて 大火炎聚だいかえんじゆに入る 我、虚空こくうの中において 日月星を見ざるなり」と押さえておられます。「帰する」には「行く」という意味もありますので、「行くところがなく、ひとりぼっちで付き添ってくれる人もい

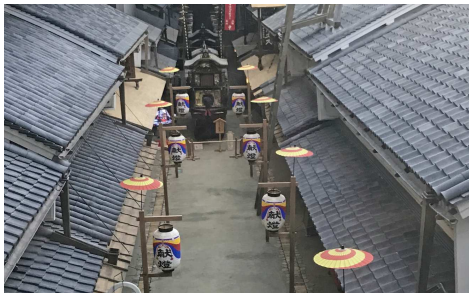
ない。闇の中にあつて大きな火の集まりに包まれ、太陽も月も星も見ることのできない空しい空間。これが地獄だ」と説かれています。太陽や月が見られないというのは今いつだかわからないこと。星が見られないというのは方角がわからないこと。今いつだかわからない、自分が今どこにいるのか、何をしているのかわからない、そんな空間にすることが地獄にいくことと源信僧都は教えてくださいました。

大阪探検

おおさか こんじゃくかん 大阪くらしの今昔館



今昔館入場口



実物大に復元された天神祭宵宮の街並み



城北バス住宅(戦災者仮設住宅)模型

【アクセス】

・大阪メトロ谷町線・堺筋線または
阪急千里線「天神橋筋六丁目駅」下車
3号出口直結 ・JR大阪環状線「天
満駅」から北へ徒歩7分

日本一長い商店街(全長2・6km)天神橋筋商店街の北の入り口、天神橋筋6丁目交差点から、徒歩1分のところにある住まい情報センタービルに、2001年4月、「住まいの歴史と文化」をテーマとした「大阪くらしの今昔館」がオープン。入館者は500万人を超えました。

しばし時を忘れて

都心のビル9階に上がると、「なにわ町屋の歳時記」と称して、江戸時代は天保初年(1830年代前半)の大阪の町並みを実物大で再現しています。4月下旬から8月までは、日本三大祭りの天神祭宵宮の街並みを、9月から4月中旬までは天下の台所として賑わいを見せた大

阪の町を楽しめます。着物レンタルで写真を撮れるのも大人気。

風呂屋・薬屋・本屋・人形屋が立ち並び、江戸時代にタイムスリップ。人間国宝の桂米朝師匠の音声ガイドは落語ファンにはたまりません。

8階「モダン大阪パノラマ遊覧」では、明治・大正・昭和の近代大阪を代表する暮らしぶりを、模型や資料で多彩に表現されています。

大阪周遊パスで大阪探検

この周遊パスは、大阪メトロ・シティバス・私鉄の大阪区域が乗り放題の観光乗車券(一日券2700円)で、大阪くらしの今昔館や大阪城、通天閣、水上バスアクアライナーなど40カ所の施設に無料入場できます。(長田 譲)

ごえんさんを訪ねて

さいこうじ
西光寺

すえまつ しょうけん
寿栄松正顕 住職



西光寺は1532年に佛光寺第15代の経光上人に帰依した道順というお医者さんが堀上村（現在の三津屋南）に建立しました。

その後、大阪大空襲や阪神淡路大震災で本堂や山門に大きな被害を受けます。60年の時間を要しましたが、門徒さまのご尽力により全て再建し現在に至ります。

サラリーマン時代を経て

住職は大学を卒業後、モーターに取り付ける減速機の営業販売の職に就かれています。その後、2006年に自坊へ戻られ前住職と共に法務を勤めるようになりました。

住職になるまでの間に、式務衆として本山の法要儀式に携わり、『大悲』誌の編集者も務められています。大悲の会では会計処理を一手に引き受けてくださっています。

またお酒をたくさん飲みそうな雰



西光寺の本堂

囲気をお持ちなのですが、一滴も飲めないのでもいつも酔っ払った他の編集者を車で自宅まで送ってくださいます。

地元ではお子様が通う小学校のPTA会長を三年間にわたって務めておられます。

住職として

今年の7月に西光寺14代住職に就

任され、継職法要は10月に勤められます。

これからの抱負を伺いますと「前住職が続けてきた寺報（現在320号）を継続していきたい。そして地元の子どもたちが気軽に遊びに来られるようなお寺にしたい」ということで色々な企画を考えておられます。

「これまでテレビなどで老舗店や伝統を引き継ぐ人を目にする『大変だな』と他人事のように思っていました。しかし自分の継職を通して14代住職という歴史の重みを感じながら、一歩ずつ頑張っていこうと思います。ご指導よろしく願います」とお話くださいました。

（玉出宗順）

■西光寺(さいこうじ)

〒532-0035

大阪市淀川区三津屋南1-7-4

電話 06-6301-4040

Fax 06-6301-4040

大悲トピックス

■慶讃法会のご巡教、大阪別院報恩講の厳修について

8月19日、第6回大阪光専会（大阪教区の役員会）が開催されました。協議の結果、10月27日に予定していました慶讃法会のご巡教は、新型コロナウイルス感染拡大を危惧して延期とさせていただきます。

また、大阪別院報恩講は内勤めとし、教務所長と輪番、別院助役でお勤めさせていただくことになりました。

ご巡教を延期し、報恩講を内勤めとすることは、誠に心苦しいことではありますが、ご門徒ならびにご参集の皆さまの健康と安全を第一に考えた苦渋の選択です。

内勤めではありますが、当日はご無理のない範囲で本堂外陣にてお参りください。

（大阪別院輪番 葦名 彰）

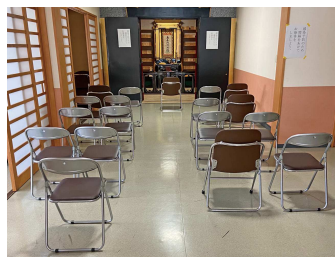
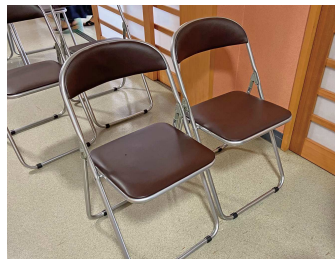
■大阪別院研修ホールのパイプ椅子新調

60年近く使ってきました別院1階研修ホールのパイプ椅子60脚をこの夏に新調しまし

た。

シンプルで丈夫な椅子に買い替えましたので、お楽にお座りいただけたと思います。

（大阪別院輪番 葦名 彰）



新しくなったパイプ椅子

■懇志御礼

三重県いなべ市 東光寺様

■新住職の紹介

寿栄松正顕様（第一組・西光寺）

玉出宗順様（第三組・光福寺）

■お悔やみ

謹んで哀悼の意を表します。

第六組・西光寺

榛沢治子様 行年97歳（8月2日寂）

第六組・光念寺

松野芳子様 行年100歳（8月12日寂）

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 石留石材

ホームページ

<http://www.ishitome.co.jp>

本社：京都市中京区堀川御池角

TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

「大悲の会」御用達

鯖 旬魚菜 さぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前
tel. 06-6696-6880

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20

さつきマンション 1F

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込みは

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

人工芝施工・内外装工事・サイン・ディスプレイ・テント



協和産商株式会社

<https://www.kyowa-ss.co.jp/>

本社：大阪市東住吉区今川18-1-14

TEL:06-6702-5722 FAX:06-6702-5732

だいひ 絵日記

- 7月17日（金）大悲の会編集会議（第39号読み合わせ）（オンライン会議）
 7月21日（火）佛青懇和会研修会（座談会「いま、この時代に思うこと」）①
 7月28日（火）法友会研修会（静かなる風・講師：中井賢隆 師）②
 7月30日（木）大悲の会編集会議（第39号読み合わせ）（オンライン会議）
 8月13日（木）大阪別院盂蘭盆会（～15日）
 8月17日（月）大悲の会編集会議（第39号読み合わせ）（オンライン会議）
 9月19日（土）大阪別院彼岸会（法話：玉出宗順 師）
 9月22日（火）大阪別院彼岸会（法話：佐々木太一 師）
 9月25日（金）大阪別院彼岸会（法話：葦名 彰 師）
 9月25日（金）大悲の会編集会議（第39号発送作業・第40号内容検討）
 （法友会＝住職会、さつき会＝坊守会、佛青懇和会＝青年会）



沙羅
 寺院コム
<http://jiin.com>

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!
 ～歩もう仏院の道のりを～
 株式会社 **モントラベル**
 〒550-0013
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
 お気軽にお問い合わせください
 TEL. 06-6531-1344

創業安政3年
 京 佛 具 調 進
 森田屋
福野御佛具處
 〒601-8424
 京都市南区西九条猪熊通九条上る
 tel. fax 075-691-8423

協 賛
佛青懇和会
 大阪教区の青年会
 （会長：門川崇志）

協 賛
さつき会
 大阪教区の坊守会
 （会長：木村愛子）

協 賛
法友会
 大阪教区の住職会
 （会長：佐々木太一）



どなた様でもお参りいただけます
法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

10 月 21 日（水）～ 25 日（日）

法話：脇阪義仁 師（霊松寺）

12 月 11 日（金）～ 15 日（火）

法話：葦名 彰 師（妙圓寺）

12 月 16 日（水）～ 20 日（日）

法話：門川崇志 師（浄方寺）



大阪別院 報恩講
 10月27日（火）午後2時より
 本年は新型コロナウイルス感染症の
 拡大を考慮して「内勤め」とさせていただきます

編 集 秘 話

マスクの日々。顔馴染みの方でもお会いすると一瞬ドギマギします。会議もオンラインになり、画面上に映し出される自分の顔を見ながら話すことにまだまだ戸惑うことがしきり。慌てて口角を上げてみたりします。いつかマスクなしで過ごせるようになった時、私たちはどんな顔をしているのでしょうか。（佐々木）

編 集 後 記

『大悲』誌が発行されて現在 9 年目。なので来年は 10 年目を迎えます。そこで今、10 周年を記念した冊子の作製を検討しています。『大悲』編集者の執筆した原稿をまとめ、再チェックし、構成しなおしています。来年の後半あたりに皆さんのお手元に届くよう『大悲』誌の編集作業に加えて奮闘中です。乞うご期待！（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第 39 号（秋号）
 令和 2 年（2020 年）10 月 1 日発行（発行部数 2200 部）
 発行：大悲の会
 事務所：佛光寺大阪別院内
 〒558-0011 大阪市住吉区苅田 6-11-24 電話 06-6691-1362
 郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
 大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
 長田 譲（会長） 佐々木太一
 隅谷俊紀（副会長） 葦名 彰
 寿栄松正顕（会計）
 玉出宗順（会計）
 門川崇志（監事）